

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人いせコンビニネット
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日
受託金額	2,684,330円
受託内容	<p>①リユースパソコン地域循環化プロジェクト(企業からNPOへの中古パソコンの寄贈推進)</p> <p>②志摩地域中間支援組織基礎調査プロジェクト(志摩地域を中心とした中間支援機能強化)</p> <p>③NPO法・税制改正啓発プロジェクト の3つの柱による事業を実施する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果</p> <p>①パソコンの寄贈プログラムを三重県版にするために、払い下げしてもらえる企業や行政の確保</p> <p>②志摩地域の団体に訪問してデータの蓄積</p> <p>③NPO法・税制改正のための情報収集</p>
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>成果1、これまで各地域で個別に実施していたリユースPC寄贈プログラムを三重県全体とすることができた。</p> <p>成果2、各地域でリユースPC寄贈プログラムに賛同し参加してもらった団体数が22年度は、当法人を含めて6団体だったものが、23年度には7団体となった。</p> <p>成果3、3月24日に行った寄贈式&交流会では、共催に大塚商会、トレンドマイクロ、日本マイクロソフト、ブラザー販売、後援に、総務省(セキユリティすごろく「セキユろく」)、三重県、伊勢市、松阪市、伊賀市、津市、名張市、四日市市が参画してもらうこととなり、新聞報道なども行われた。</p> <p>1、リユースPC寄贈地域循環化プロジェクト(広域事業): 成果:10月～3月まで実施、結果三重県内のパソコン払い下げ企業確保数 8社 三重県内でパソコンを提供してもらえる企業はある程度確保できたものの、小規模の企業であるため、機種もバラバラで確保できるパソコンの時期もバラバラで、まとまった台数を確保できないため、三重県内や東北に生産協力事業所を作っても、</p>

	<p>OS等の再インストール作業を行うことが障がい者等に行ってもらうには困難な事態が想定される。一部パソコンを首都圏中心とした企業から提供してもらうことに改善する。また、パソコンを提供してもらえる企業の確保は、引き続き24年度も継続していくこととする。</p> <p>2、志摩地域中間支援組織基盤整備プロジェクト(南勢志摩県民センター管内事業) 成果：10月から3月まで実施、結果61団体の調査を終了 初年度は、多くの団体の調査を行うというより、交流会を開催するというを通じながら、調査を行う形を取り、より組織化、よりネットワークの強化を図りながら調査を進めている。 ※志摩市民活動通信 SANPO の自主性を尊重しながら、当法人で管理し事業実施を行っていく。最終的に、志摩地域の中間支援組織の強化が成果と考えている。</p> <p>3、NPO法・税制改正啓発プロジェクト(南勢志摩県民センター管内事業) 成果：2回のセミナーに参加(内容：①新NPO会計基準、②認定NPO法人申請セミナー)、10月～3月までHP等より情報収集といせ市民活動センターのHP等で発信 とくに大きな変更点はないが、23年度に別事業で調査を行ったNPO法人についても、当法人と顔の見える関係が構築できたので、24年度以降は、これらのNPO法人に対しても講座の案内、訪問を行っていくこととする。</p>
評価ラ ンク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)

2. 添付書類

その他参考となる書類

※ 都道府県において適宜設定すること。